越谷市立病院運営審議会

会　議　録

（令和８年１０月２１日）

越　谷　市　立　病　院

越谷市立病院　運営審議会

日程：令和８年(2026 年)１０月２１日（水曜日）

審　議　会　日　程

＜　委　嘱　式　＞

１　開式
２　委嘱状交付
３　市長あいさつ
４　各委員紹介
５　閉式

＜　審　議　会　＞

１　開会
２　院長あいさつ
３　会長、副会長の選出
４　諮問書交付
５　議事
　１）許可病床数の適正化について
　２）令和７年度決算について
　３）中期経営計画・経営強化プランの実施状況(令和７年度実績)について
　４）その他
６　閉会

○出席委員　（１５名）

第１号委員	大　越　恭　二　委員	第１号委員	原　　直　委員
第１号委員	鮫　島　弘　武　委員	第１号委員	松　田　繁　三　委員
第１号委員	中　村　昌　弘　委員	第１号委員	山　口　文　平　委員
第１号委員	松　尾　一　可　委員	第１号委員	市　川　純　二　委員
第２号委員	堀　井　捷一郎　委員	第２号委員	會　田　容　子　委員
第２号委員	中　島　美三郎　委員	第２号委員	堀　切　康　平　委員
第２号委員	高　橋　友　哉　委員	第２号委員	戸　張　美智代　委員
第２号委員	西　脇　隆　佐　委員		

○欠席委員　（３名）

第１号委員	天　草　大　陸　委員	第２号委員	齋　藤　恵　子　委員
第２号委員	吉　田　雅　代　委員		

○説明員

坂　本　一　博　院長
松　元　智恵子　副院長兼看護部長兼患者支援センター長
佐　藤　陽　二　副院長
渡　辺　真　浩　事務部長

○事務局

根　本　健太郎　事務部副部長兼経営企画課長
宮　内　賢一郎　庶務課長
佐　藤　雅　俊　医事課長
石　村　竜　也　庶務課副課長
原　田　幸　哉　経営企画課副課長
伊　藤　利　成　医事課副課長
沖　野　愛　子　患者支援センター副センター長

（開式　午後１時３０分）

< 審　議　会 >

◎開　　会

１　開　　会

○司会（石村庶務課副課長）　それでは、ただ今から令和８年度第１回越谷市立病院運営審議会を開会させていただきます。

なお、同審議会条例第６条第３項により「審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。」と規定しております。本日の会議は、委員１８名のうち１５名のご出席をいただいており、会議が成立しておりますことをご報告させていただきます。

それでは開会にあたりまして、当院の坂本　一博院長からご挨拶を申し上げます。

○坂本院長　越谷市立病院運営審議会の開催にあたりまして、ご挨拶申し上げます。この度は市立病院運営審議会委員をお引き受けいただきまして、厚くお礼申し上げます。

先ほど福田市長からもありましたが、全国的に病院は厳しい経営環境にあり市立病院も同様の状況でございます。赤字を縮減し経営改善を進めるには入院を必要とする患者さんを確実に受け入れる必要があり、救急の受け入れや近隣の医療機関との連携の強化が課題となっています。

このため、令和７年度から第７期中期経営計画に基づき断らない救急や地域医療連携強化を掲げ、経営改善に取り組んでおります。

市立病院は医師会をはじめ地域の医療機関の皆様と機能分化を図りながら、基幹病院として医療の提供を行っており、皆様のご協力は不可欠でございます。

本日の審議会は、許可病床数の適正化など、市立病院の今後の運営方針に繋がる重要な項目を議論していただきますので、皆様の忌憚のないご意見を頂戴できればと存じます。

今後につきましても、地域の医療機関との病診連携等を一層強化しながら、地域住民の更なる信頼を得るべく努力してまいりますので、皆様方には引き続きご指導・ご鞭撻をお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

○司会（石村庶務課副課長）　続きまして議事に入る前に、資料のご確認をさせていただきます。先日、事前送付いたしました資料を本日お持ちいただくよう、お願いしておりました。資料をお持ちでない方がいらっしゃいましたら、挙手にてお申し出いただきたいと存じます。

◎会長、副会長の選出

〇司会（石村庶務課副課長）　進行に際し、本審議会の会長が会議の議長になると条例で規定されておりますが、本日は、委嘱後最初の審議会でございますので、会長及び副会長の選出までの間、事務局の方で進行いたしますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、会長及び副会長の選出に移ります。２ページの越谷市立病院運営審議会条例をご覧ください。条例第５条に基づきまして、審議会に会長及び副会長を各１名置くこととされ、第２項において、会長及び副会長は、委員の互選により定めることとなっております。参考までに申し上げますと、これまで当審議会は、医師を代表する者の１号委員と、受益者である２号委員のうち、２号委員の皆様の互選により、２号委員の中から会長、副会長を選考いただいております。本日はいかがいたしますか。

《　前回同様という声あり　》

〇司会（石村庶務課副課長）　ただ今、委員さんからこれまでどおりの選考方法でとのご意見をいただきましたが、２号委員さんの中から互選により会長、副会長を選任いただくということでよろしいでしょうか。

《 異議なしという声あり 》

〇司会（石村庶務課副課長）　それでは、２号委員の皆様によりまして、会長及び副会長を選任していただくこととさせていただきます。２号委員の皆様には別室にてご協議をしていただきたいと存じます。

ここで、暫時休憩とさせていただきます。

《 休憩中・２号委員はミーティング室にて協議 》

〇司会（石村庶務課副課長）　それでは休憩前に引き続き、会議を再開させていただきます。選考の結果について、私の方からお伝えさせていただきます。

会長に高橋　友哉委員さん、副会長に堀井　捷一郎委員さんが選任されましたが、ご異議はありませんでしょうか。

《 異議なしという声あり 》

〇司会（石村庶務課副課長）　それでは、会長に高橋委員さん、副会長に堀井委員さんと決定させていただきます。

それでは会長、副会長のお二方につきましては、席を移動していただくため、暫

時休憩といたします。

《 会長及び副会長の席を設定し、それぞれ着席 》

○司会（石村庶務課副課長）　休憩前に引き続き、会議を再開させていただきます。
はじめに会長に就任されました高橋委員さんより、ご挨拶をお願いいたします。

○高橋会長　ただいま本審議会の会長ということでご指名をいただきました越谷市薬剤師会選出の高橋　友哉と申します。会長をお引き受けするにあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

本審議会につきましては、市長の諮問に応じ、市立病院の管理運営に関する基本計画の策定や実施に関し、必要な調査、研究及び審議を行うため、医師を代表する１号委員と受益者を代表する２号委員により構成された審議会でございます。

皆様方のお力添えをいただきながら、「より良い市立病院づくり」を目指し、微力ながら会長の任をまっとうできればと考えておりますので、ご協力のほどお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

○司会（石村庶務課副課長）　ありがとうございました。続きまして副会長に就任されました堀井委員さんより、ご挨拶をお願いいたします。

○堀井副会長　ただいま本審議会の副会長ということでご指名をいただきました越谷市自治会連合会選出の堀井　捷一郎と申します。

先ほどご挨拶をいただきました高橋会長とともに、本審議会が滞りなく進行されますよう力を尽くしてまいりますので、皆様方のお力添えをいただきますようお願い申し上げ、挨拶とさせていただきます。

○司会（石村庶務課副課長）　ありがとうございました。続きまして、福田市長より高橋会長に「越谷市立病院の許可病床数の適正化について」の諮問書を交付させていただきます。恐れ入りますが、高橋会長、堀井副会長におかれましては、ご起立のうえ、諮問書を市長からお受け取りいただきたいと存じます。

○福田市長　越谷市立病院運営審議会会長　高橋　友哉様。越谷市立病院の許可病床数の適正化について諮問。このことについて、越谷市立病院運営審議会条例第６条第２項第１号の規定により、下記のとおり貴審議会の意見を求めます。１　越谷市立病院の許可病床数の適正化について。以上でございます。

○司会（石村庶務課副課長）　ありがとうございました。それでは、ここからは、審議会条例第５条の規定によりまして、高橋会長さんに議事の進行をお願いいたしま

す。

○議長　それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。

本日、当審議会に付されている議事について、まず先ほど市長より諮問を受けました「許可病床数の適正化について」、事務局から説明をお願いします。

○根本副部長兼経営企画課長　市立病院の許可病床数の適正化についてご説明します。資料３ページをご覧ください。越谷市立病院のベッド数につきましては、許可病床数が４８１床、実際に稼働している病床は３８０床となり、現在１０１床が休床となっています。

許可病床数と実稼働病床数に乖離がある理由としましては、資料の下段にありますとおり、休床①として、それまで、病棟の多人数部屋にはベッドを６床設置していたものを、平成２５年以降、看護のしやすさや患者さんの入院環境向上のために４床に変更いたしました。また、当時需要が高まっていた個室を増やすなど病棟の整備を行った影響で、５１床が休床となりました。

また、休床②としまして、令和７年２月に各病棟の看護配置の強化や救急体制の強化を目的として、７－１病棟を休止したことから、更に５０床休床となりました。この合計１０１床が休床であることから、現在病床数に乖離が生じています。

資料５ページの上段をご覧いただきたいのですが、本年度、厚生労働省から「病床数適正化緊急支援事業」が示されまして、許可病床数を適正化した場合に補助金が交付されることとなりました。先程ご説明した、休床病床１０１床を削減した場合には、最大で約２億円の補助金が交付されるものです。今回の病床の適正化につきましては、単に補助金が目当てで実施するものではなく、そもそも許可病床と稼働病床に１００床以上の乖離が生じていることが、好ましい状況でないこと、また、経営状況が厳しい中、いずれ行うべき整理であれば、補助事業を活用して適正化をすることが望ましいといった理由から、今回、病床削減の手続きを進めています。

５ページの下段をご覧いただきたいのですが、越谷市立病院の１日あたりの平均入院患者数につきましては、平成２０年以降、約３００人から３５０人で推移しています。今回の病床削減においては、現在の稼働病床の３８０床については維持いたしますので、地域医療や市民、近隣住民の皆様への影響は無いものと考えています。

なお、本審議会には医師会選出の委員の方も多くいらっしゃいますが、越谷市医師会には事前にご説明をさせていただきまして、単に補助金をもらって終わりというのではなく、しっかりと経営改善、地域医療との連携、病院の今後の在り方について継続して考えていくこと、また、その際には医師会にもさまざまなご協力がいただけることなどをご助言いただきました。

現在は県の地域医療構想調整会議の承認を経て国に正式に申請を行っており、本

審議会でご了承いただければ、令和９年３月議会において、条例改正を行う予定で準備を進めております。許可病床数適正化についての説明は以上です。

○議長　ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

ご意見、ご質問等が無いようでございますので、「許可病床数の適正化について」、ご了解いただけましたでしょうか。

《 異議なしという声あり 》

○議長　なお、答申書につきましては、皆様の都合もありますので、正副会長にご一任いただき、答申させていただきたいと存じますがいかがでしょうか。

《 異議なしという声あり 》

○議長　ありがとうございます。それでは、そのように対応させていただきます。以上で「許可病床数の適正化について」を終結いたします。

続きまして、「令和７年度決算について」、事務局から説明をお願いします。

○根本副部長兼経営企画課長　それでは令和７年度の病院事業の概要につきましてご説明申し上げます。恐れ入りますが、資料７ページの「令和７年度決算について」をご覧ください。

はじめに「入院」について、でございますが、延患者数につきましては１０万８，２５５人で、前年度に比べ３，１６１人減少をいたしました。

１日の平均患者数は２９６．６人、平均在院日数は１２．６日でございます。また、入院患者の１日１人当りの収益は６３，０１１円で、前年度に比べ３，２９７円増加いたしました。実病床稼働率は７８．０％でございました。

次に、「外来」について、でございますが、延患者数につきましては１６万９，１３５人で、前年度に比べ９，９０５人減少いたしました。１日の平均患者数は６９８．９人、１日１人当りの収益は１６，７１４円で、前年度に比べ１，３６３円増加しました。

次に「救急」について、でございますが、年間救急外来患者数は９，３７１人で、前年度に比べ７０４人減少いたしました。その内、救急車搬入患者数は５，０２９人で、こちらは、当院の過去最高の受け入れ人数で、東部医療圏において最多を達成することができました。

次に、「紹介」でございますが、紹介率につきましては昨年度紹介受診重点医療機関となったことなどの影響から大きく上昇していまして、７８．９％、紹介患者数については１１，７８６人で昨年度から７４８人の減少となっています。

続きまして８ページをご覧ください。令和７年度決算におきます、病院事業会計の「収支」についてご説明いたします。

令和７年度病院事業収益は、１１９億２，６２１万９，０００円で、前年度と比べ４億３，４８１万７，０００円の増収でございます。その内、医業収益につきましては、入院収益・外来収益及び一般会計からの繰入金などを合わせまして、１０６億６，４６５万２，０００円で昨年度に比べ２億４，７８８万６，０００円増加をいたしました。医業外収益他につきましては、市からの繰入金や県や国からの補助金が主なものとなりますが、こちらは１２億６，１５６万７，０００円と、昨年度と比べて１億８，６９３万１，０００円の増加という状況です。

次に病院事業費用は、１３１億５，３５８万３，０００円で、前年度と比べ３億８，１６３万４，０００円の増加となりました。そのうち、医業費用につきましては、給与費や診療に関わる薬品・診療材料などの材料費、病院施設・設備の維持管理などの経費、減価償却費など合わせて１３０億６，９６４万８，０００円でございます。費用の増加の主な理由といたしましては、全国的な民間企業の賃金の上昇に合わせた形で、公務員給与の改定がありましたことから、人件費が大幅に増加したこと、また、物価高騰の影響から、薬品や診療材料などの経費が増加したことによるものです。

以上の結果、令和７年度の収支としましては１２億２，７３６万４，０００円の純損失を計上する結果となりました。

令和６年度に引き続き、令和７年度においても、大きな赤字を出した要因については、当然、当院の努力不足もございますが、現在の診療報酬制度が人件費や物価の上昇に対応できていないという大きな問題点もあると考えております。そのことから、昨年度から、全国自治体病院協議会や中核市市長会などを通じて、総務省、厚生労働省などに診療報酬額を適正な額にしていただきたい事や、臨時の補助金の交付をしていただけないかなど、強い要望を継続して行っております。

また、令和７年度に、第７期中期経営計画を策定いたしましたが、その中で、救急の強化、地域の医療機関との連携を大きな目標として掲げておりますことから、院内で平日日中の救急患者を全件受け入れる方針を打ち出し、昨年１０月から運用を開始しました。同じく、昨年１０月から、越谷市医師会の会員である地域の医療機関と当院の救急の現場を直接つなぐ専用回線、「地域ホットライン」を整備し、紹介患者の受け入れの強化を図っております。

このような経営状況の中、すぐに赤字を解消することはなかなか難しいと考えておりますが、中期経営計画にそった経営改善に院内全体で取り組みまして、段階的ではありますが、早期の収支均衡を目指してまいりたいと考えております。令和７年度決算についての説明は以上です。

○議長　ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

〇委員　救急外来患者数が9,３７１人、救急車搬入患者数が5,０２９人で、この内入院をされた方はどの程度いるのでしょうか。

〇根本副部長兼経営企画課長　救急から入院に繋がる割合につきましては、おおむね３０％から３５％程度となっております。

〇委員　入院の１日平均患者数が２９６.６で稼働病床数が３８０床だと８０床程度が空床になっているということでしょうか。

〇根本副部長兼経営企画課長　その通りです。インフルエンザ等が流行する時期は患者数が増加する傾向にあり、月に３２０人から３３０人程度となる月もあります。

〇委員　医業収益が１００億円前後であまり増加していないにも関わらず、給与費が年々増加しています。公務員の賃金が上昇しているという説明でしたが、この赤字体制の中で余計な事務職員等を増やしていないのでしょうか。

〇根本副部長兼経営企画課長　事務職員につきましては、令和６年度に経営改善を目的とし、定数を１１人増員したという経過があります。

〇委員　事務職員を増やせば支出が増えるだけで、経営改善のためには、優秀な医師を採用し、収益を上げるしかないと思います。救急や手術を積極的に行う医師のモチベーションを上げるような給与体系にしていただき、事務職員はアウトソーシングなど、民間の手法を取り入れた経営改革をしてもらいたいです。

〇委員　令和８年の６月から診療報酬が改定され、今年度は期待できると思いますが、病床稼働率は現状どの程度でしょうか。

〇根本副部長兼経営企画課長　病床稼働率につきましては、昨年度とほぼ同様で推移をしているという状況です。診療報酬の改定につきましては、１年間で概ね３億円から４億円程度の増収が見込めるものと試算をしていますが、費用の方も増加しています。このため、患者数が増加をしないと赤字の縮減ができないと感じています。

〇委員　令和７年度の外来収益が増加していますが、新しい検査を導入するなど、何か収益を上げるような指示をしたのでしょうか。

〇根本副部長兼経営企画課長　外来の収益増加の要因としましては、抗がん剤や、アルツハイマーなどの高額な薬剤を使用した治療を開始したことによるものです。ただし、高額な薬剤を使用するため、その分費用も増加してしまうというような状況

です。

○議長　ほかに何かご意見、ご質問等はございますでしょうか。

無いようでございますので、「令和７年度決算について」に対する質疑を終結いたします。

続きまして、「中期経営計画・経営強化プランの実施状況(令和７年度実績)について」、事務局から説明をお願いします。

○原田経営企画課副課長　それでは、「第７期中期経営計画・経営強化プランの実施状況」について説明いたします。当院では、令和７年度に「第７期中期経営計画」と「経営強化プラン」を策定し、これらに基づき経営改善に取り組んでおります。このたびは、令和７年度の実績がまとまりましたので、計画どおりに進捗しているか、未達成となった項目についてどのように分析しているか、それぞれまとめたものであります。

まず、「第７期中期経営計画の具体的施策の実施状況」ですが、達成の「○」が３０項目、未達成の「△」が９項目、検討中などにより評価できないものとなる「－」が４項目となっております。

主な項目ですが、「収益確保対策」の「ア収益改善に係るもの」では、「①新たな施設基準等の取得」として「総合入院体制加算３」等を取得でき、診療単価の向上につなげられたため「○」としました。「イ収入確保に係るもの」では、「①ベッドコントロールの強化」で新規入院患者数が目標を下回ったため、「△」としております。これについては、令和８年度に院内の組織改正を行い、新設の患者支援センターにおいて病床管理担当を設け、より組織的なベッドコントロールができるよう取り組んでおります。

次に、「費用削減対策」では、ジェネリック医薬品の採用率、診療材料の同種同効品への切替えなどについて、目標を達成したため「○」としております。

次のページ、「医療の質・患者サービスの向上」の「ア医療機能」の「①救急車受入れ応需率の向上」においては、救急車搬入患者数が５,０２９名と初の５,０００名を超え、目標を上回ったことから「○」としております。なお、この５,０２９名は、６市１町で構成する「東部医療圏」で最多となっております。「イ医療の質」については、「④クリニカルパス委員会の活動推進」として、「医療者用パス及び患者用パスの適用件数」が、令和７年度に審査体制を整備したことなどにより目標を上回る実績となり、「○」としております。また、「⑦口腔ケア・医科歯科連携による口腔内環境の向上」においては、口腔ケアラウンドの実施回数が目標を上回り、「○」としております。なお、口腔ケアラウンドの結果、歯科治療が必要な患者が多く見受けられることを踏まえ、越谷市歯科医師会の協力のもと、令和８年９月から院内で歯科医による歯科治療を開始しました。

次ページ、「ウ連携の強化」においては、「②地域医療連携の推進」として、地

域ホットラインを令和７年１０月から開始し、お受けした患者の約７割が入院につながるなど、成果を上げております。

次に、「管理運営体制の強化」については、臨床研修医の採用数が目標を２名下回ったため「△」としております。内定取消等によるものではありますが、当院での研修に魅力を感じてもらえるよう、積極的な病院見学の受入れなどに取り組んでまいります。

続いて、次ページ「(２)財政計画の検証」ですが、新入院患者数８，５４８人、平均在院日数１２．７日、延べ入院患者数１０８，２５５人、平均入院診療単価６３，０１１円となっており、それぞれ目標に届かず「△」としております。外来延べ患者数は１６９，１３５人、平均外来診療単価１６，７１４円は目標どおりのため「○」としております。入院は、診療単価が大きく増加した一方で、患者数は目標を下回りました。平均在院日数が良化していることでベッドの回転がよくなったことに患者の確保が追いついていないと考えられることから、救急の受入れや地域の医療機関からの直通電話「地域ホットライン」を強化することを核に、患者獲得に取り組みます。外来は、紹介受診重点医療機関となったことなど病診連携が浸透してきた結果、患者数は目標に近い形で減りましたが、診療単価は目標以上に良化しています。

最後に、次ページの「経営強化プランの実施状況」については、中期経営計画の内容を国の求める内容にあわせて経営強化プランの数値目標をまとめたもので、網掛けのものは中期経営計画と同じ項目となっているなど、概ね中期経営計画と同様のものとなっております。

○議長　ただいまの事務局からの説明に対しまして、ご意見、ご質問等がございましたら、お願いいたします。

○委員　平均在院日数が短くなり、回転率が上がったため患者の確保が追いついてないということでしたが、患者確保のため、具体的にどのような取り組みを考えていますか。

○原田経営企画副課長　患者数の増加のために、まずは救急の患者数を増やしていくことを目的に平日日中の救急車全件受け入れや地域ホットラインの強化に取り組んでまいりました。日曜日にどうしても応需率が下がるような状況ですので、今後、日曜日に新たな救急医を採用し、患者さんを獲得していく取り組みも行う予定となっています。

○委員　地域ホットラインができたことにより、日中の患者さん受け入れは非常に良くなり助かっています。休日や平日夜間の救急受け入れを強化してもらえると我々も助かりますし、患者さんも増加すると思います。

〇委員　未収金対策の強化の項目について、未収金が増加した理由の詳細を教えてください。

〇佐藤医事課長　医療事故に係り、支払いを保留し交渉していましたが、交渉の進捗状況により保留していたものを、未収金として計上したという経緯があります。

〇委員　その問題が解決すれば、未収金も解決するという認識で良いでしょうか。

〇佐藤医事課長　現在交渉中ですので、解決に向けて全力で取り組んでおります。

〇委員　臨床研修医受入れの充実の項目が「△」となっていますが、より良い職場環境作りなど、どのように分析していますでしょうか。

〇宮内庶務課長　多く医学生の方が病院見学に来られています。現在１２名の臨床研修医がおりますので、見学の際、見学者と臨床研修医が話を出来る場を設けています。見学者からは良い職場環境だとのお声ももらっています。

　臨床研修医の採用につきましては、マッチングシステムというものがあり、医学生の方も病院をある程度選べるものとなっています。当院の採用試験にも多くの応募がありましたが、募集定員８名に対し、７名マッチングしましたが、１名採用を辞退されてしまい残念ながら６名となった経緯があります。

〇委員　新越谷病院がイムス埼玉越谷病院に新築移転したことから、新越谷病院に受診していた患者さんがイムス埼玉越谷病院に上手く移行出来ていないような話も伺います。イムス埼玉越谷病院も救急体制を整えているかと思いますが、市立病院とイムス埼玉越谷病院で救急患者の受入れ調整などは行っているのでしょうか。

〇根本副部長兼経営企画課長　現時点で調整は行っておりませんが、やはり地域の中で連携していく必要もあるかと思いますので、今後視野に入れていきたいと思います。

〇委員　リハビリテーション機能の体制整備の項目が「検討」となっていますが、患者さんの在宅復帰を考えたときに重要となると思いますので、詳細を教えてください。

〇根本副部長兼経営企画課長　リハビリテーション機能につきましては、当院の規模にしては体制が弱いという外部からのご指摘もありました。職員の欠員が生じているような状況もあり、体制整備ができていませんでしたが、今年度に入り、欠員解消も順調に進んでいますので、今後体制整備の強化を行ってまいります。

〇委員　先ほどの決算の話に戻りますが、給与費の内訳が分かりません。次回からで良いので、医療従事者と事務職員の人数や給与費を分けて示してもらいたいです。給与費全体だと何が無駄か、何が足りないのか分かりません。

〇宮内庶務課長　来年度には改善させていただきます。

〇議長　ほかに何かご意見、ご質問等がございますでしょうか。
　無いようでございますので、「中期経営計画・経営強化プランの実施状況（令和７年度実績）について」に対する質疑を終結いたします。
　次に「その他」ですが、何かございますでしょうか。

〇委員　病院の建て替えにつきまして、会議を開いていくという話もありましたが、現在どのようになっているのでしょうか。

〇根本副部長兼経営企画課長　病院の老朽化につきましては、議会などでも度々ご指摘をされており、早急な対応が必要な状況です。現在は病院の長寿命化が可能かどうかを調査しています。その結果を踏まえ、全面建て替え、一部増築、長寿命化のどの手法を取るのか方針が決まり、その後病床機能、病床数など、具体的な検討に入る際には、皆様のご意見を頂戴する場を設けたいと思います。

〇委員　具体的なところからではなく、外枠を検討する段階から意見を求めてもらいたい。議論が始まる際は参加したいです。

〇議長　ほかに何かご意見、ご質問等がございますでしょうか。
　無いようでございますので、「その他」を終結いたします。
　それでは、本日予定されていた議事は終了となりますので、進行を事務局に戻させていただきます。ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

◎閉　　会

〇司会（石村庶務課副課長）　高橋会長、委員の皆様、大変お疲れ様でございました。本日の会議録につきましては、速やかに作成し、後日委員の皆様宛に郵送させていただきます。
　なお、次回の運営審議会の開催日程は未定となっております。開催日が決まりましたら、改めて皆様にお知らせいたしますので、大変ご多忙のところ恐縮ですが、ご配慮賜りますようお願い申し上げます。

それでは閉会にあたりまして、堀井副会長からごあいさつをお願いいたします。

〇堀井副会長　それでは閉会にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。

職員の皆様には、引き続き経営改善がはかられますよう、また多くの患者さんの信頼が得られるよう、病院運営に取り組んでいただきたいと思います。

また、委員の皆様におかれましては、今後とも、それぞれのお立場から、市立病院の運営についてご意見をいただきますようお願い申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。本日は、大変お忙しいなかご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。

○司会（石村庶務課副課長）　以上をもちまして越谷市立病院運営審議会を閉会とさせていただきます。本日は大変お疲れ様でございました。

（閉式　午後２時３０分）